

第1回ポイントレースの結果

さて、あけましておめでとうございます。いよいよ2017年のポイントレースの開始です。

今日は、3月26日に開催された第1回ポイントレースの様をお伝えいたします。

先ず、レース委員会からのお詫びをお伝えさせていただきます。

「今回、運営にミスがあり、参加の皆さまには大変なご迷惑をお掛けしました。これは私の責任であり、深くお詫び申し上げます。今後、かかる事態が起こらないように注意して運営をいたします。」 レース委員長

では、第1回の成績を発表いたします。

第1位 「EarlyBird」 チーム

第2位 「Constanze」 チーム

第3位 「有朋丸」 チーム 各艇の皆様おめでとうございます。

当日は、春らしい穏やかな海況の下、11:00にスタートしました。予告・準備信号は鳴り響くも、スタートホーンは不発という、この日の運営側の不安定さを見せつけるシリーズの開幕でした。

しかしながらルール上は、予告・準備・スタートに至る一連の音響信号は、不発となっても無視されることとなっていますので、事なきを得ました。

(RRS 26・スタート : 音響信号の不発は無視されなければならない。)

さて、レースは参加8艇中6艇がほぼ一線でスタートする中、アルカディアと北葉山が3分から5分近く遅れてスタートしていきました。

第1上マークでは、コンスタンツェが艇団をリードして回航していきます。続いてアーリーバードがコンスタンツェのスターンをしっかりと捉えながら、続いていきます。この後、第2集団として有朋丸、イオ、カリプソ、アマルフィが続きます。どうもこの4艇は船速が伸びてきません。艇の海面下に問題があるのかも知れません。

風が少し落ちてきた第1下でも、この順で回航していきました。

おっと、北葉山とアルカディアの姿が見えません。少し離れたのか、気づきませんでした。ごめんなさい。そして波乱が起こったのは第2上マークです。

何と(いや、失礼!)第2上マークにトップでアプローチしてきたのは有朋丸さんです。

昨年から外洋レースに挑戦し、練習と参戦に明け暮れていたこのチームの真の実力が見えてきた、と運営艇上でも感嘆の声が上がりました。続いて、コンスタンツェ、アーリーバードの各艇が続きます。しかしよく見ると両艇上には焦りの色は見られません。コンスタンツェでは新たなデカスピンによる成算があるのか、アーリーバードでもコンスタンツェとの一騎打ちに集中しておられるのか、有朋丸に攻めかかる姿勢が見えません。確認出来ていませんが、両艇オーナーの不敵な笑みが見えた気がします。有朋丸は西海面へ、他の2艇は東海面へと分かれていきました。

運営艇上でも、風が落ちてきたので、コンスタンツェとアーリーバードが有利となるように見ていたところ、第2下では、滑るように航跡を伸ばしたコンスタンツェとアーリーバードが再び有朋丸を抜き返して、最終上りレグでの勝負へと突入されました。

一方この時、第2グループは苦しい戦いをしておられました。艇は走るが、思いのほかには伸びてくれない。そんなもどかしい思いが伝わってくる走りでした。でも、楽しそうに手を振って下さいました。

そして最後のグループ、こちらはアルカディアが先行し、北葉山が離されまいと縋りつく。こんな争いが続いています。しかしながら、後ろから先頭集団が迫ってきています。

「危ない、一周抜かれるぞ！」運営艇上からの願いと声援も空しく、両艇は先頭グループに「路面電車」と「N700系」とのような差でパスされてしまいました。嗚呼、風の神は両艇を見放したか！

先頭集団の最終上りレグ、互いの位置関係を意識してのカバーが成功したのか、コンスタンツェ、アーリーバード、有朋丸の順でフィニッシュし、続いてイオ、カリプソ、アマルフィの順でフィニッシュされ、最後をアルカディアが飾り、北葉山は残念ながら「DNF」となりました。

でも、DNFでもポイントは貰えますよ。この努力は必ず成果となって表れるでしょう。

《編集後記》

冒頭でレース委員長としてお詫びを申し上げましたが、今期の初レースということもあり、腰の据わらない運営となりました。上マークの準備が遅れる。カメラの用意が出来ていない。事前情報に躍らされて集計を間違える。散々な第1回となってしまいました。運営は難しいものです。一朝一夕には身に付きません。失敗は素直に反省して、次回の挽回を期します。

この記事への写真は、可能であれば後日入手して、掲載させていただきます。

次回は4月16日です。皆さん、奮って参加ください。 記者 ジェームス・Uでした。